

Unique &
Exciting

キャリア編

河端 保志

2008年知能機械工学科入学

株式会社TWOSTONE&Sons 代表取締役CEO

「日本の不合理な常識を打ち壊したい」 学生起業ベンチャーの歩み

なぜ電気通信大学大学院在学中に起業したのか

高校時代は自身の将来として、漠然とロボットなどといった最先端技術を開発できるようなエンジニアになろうと考えていました。その目標を達成するために、技術力や先輩学生の優秀さ、また教授陣の知見の高さなどといった様々な魅力を感じたことから、電気通信大学への進学を決めました。

私は大学院まで進学したのですが、大学では知能機械工学科、大学院では知能機械工学を専攻しました。数学と物理学が特に好きだったこともあり、大学院では人工衛星の姿勢制御の研究に取り組みました。難易度も高く、満足な研究成果を得るためには色々な壁がありましたが、教授や学友に恵まれたこともあり、充実した学生生活を過ごせたと考えています。

当時の私は「学生という立場は学ぶ上では貴重な期間」だと考えており、また研究もリモートで進められる環境だったこともあって、学業以外にも様々な企業のインターンを経験させてもらいました。大手IT系や人材系の企業で、営業だったり、高校時代に培ったプログラミング経験を活かしたエンジニアなど、様々なインターン活動を行いました。学業とインターンとに忙しかつたという記憶があります。

インターン活動を通して、より視野を広げたいという思いが湧き、アメリカのシリコンバレーの企業の見学にも行きました。世界から日本を客観的に見られると思ったのです。

今思えば、この経験がその後の私の人生を変えるきっかけとなったといえるかも知れませんが、シリコンバレーに行って色々な気付きを得ましたが、その中で衝撃的だったのは、アメリカの

エンジニアは報酬が高いこと。一方で日本のエンジニアの価値が世界から見ても低いことにショックを受けました。

スマホが普及していくことが想定される中、日本においても今後ますます必要とされるであろうエンジニアを取り巻く不合理な常識に疑問を抱き、気づけば入学前の志向が180度変わり、起業を意識するようになっていました。

**運命となる出会い、
価値観を変えてくれた大事な仲間たち**

様々なインターンを経験する中で、起業を決意する出会いがありました。それは私が現在代表取締役CEOを務める会社の共同代表であり、代表取締役COOの高原です。ある企業の面接を受けた際に彼はインターン生として既に働い



写真右：著者、写真左：当社共同代表の代表取締役COO 高原氏



ていたのですが、私の面接でのやり取りを聞き、私の営業力に魅力を感じてくれたようでした。高原も起業を考えていたこともあり、私に対し独特の口説き文句で「一緒に死のう（意訳…一緒に起業しよう）」と声をかけてくれたことをきっかけに株式会社TWO STONE&Sonsを創業しました。2人で5万円を持ち寄って出資金10万円からスタートした当社は、メンバーたちにも恵まれ、ありがたいことに創業から7年でマザーズ（現…グロース）市場に上場し、11年で

売上高100億円を超える企業に成長しました。フリーランスエンジニアと企業のマッチングサービスを中心に、マーケティングやコンサルなど、多岐にわたるサービスを展開しております。

私は元来「夢」というものが持てない人間です。頑張れば到達できる「目標」とは違って、「夢」は頑張ってもやうやく5%の確率で叶うものと定義しているからです。ですが、共同代表である高原ははっきりとその夢を口に出していくタイプです。私は目の前の目標に突き進むことは得意ですが、会社を経営するにあたってその高原の語る夢に背中を押されてきたように思います。

高原だけでなく今はメンバーたちも増え、グループ全体で500名規模の大所帯となりました。それでも、私はいつまでたっても創業当時の感覚のままのように思います。自分だけの秘密基地をつくり、今は仲間と共にその秘密基地をどんどん大きくしているような、起業当時のワクワクした感覚のままです。

一方で抱えるものは大きくなったと考えています。正直なところ、以前の私は自分のことに精一杯で他人のことなどは考えることができませんでした。でも今は、私も経営者として成長できたのか、周りの大事なメンバーが私の会社での経験を糧にして、社会に貢献できるような人材になってほしい、そういった人材を育てることのできる環境を提供していきたいと考えています。

学業とその後進路が私を人として大きくしてくれた

私にとって、電気通信大学で得た知見や人間関係や経験を契機として、起業し今こうして大

切な仲間恵まれていることは、大変幸せなことだと思っています。これからも私の座右の銘である「初志貫徹」を胸に、不合理な常識を打ち壊し新しい価値を世の中に提供し、日本に貢献できるような会社へと成長させていきたいと思っています。

後輩である学生の皆さんは、良い意味で失うものがまだありません。家庭を持つ社会人と比べてリスクが少ないし、そして何かをやり遂げる体力がある。ぜひ、今の環境をポジティブに捉え、興味あることにはとにかく挑戦してみたいと思いますし、当社でのインターンという選択肢もあります。

同輩である皆さんもまた、自分が取る選択肢の一つ一つで人生は大きく変わり、そして自分を人として大きく成長させてくれることと思います。

卒業生の皆さまはエンジニアとしてご活躍されている方も多くかと思ひ、少し当社の紹介をさせていただきます。

世の中はこれからハードからソフトに変革していく時期であると確信しており、そんな中、当社はソフト分野のITエンジニアを中心に支援しております。当社としてはITリソースにお困りの方に対しての人材支援はもちろんのこと、当社グループのITエンジニアとして、あるいは今後さらに市場価値が高まるプログラミングの知見もあるビジネス職など、様々なポジションを求めています。ご興味のある方はぜひお問合せいただければと思います。

電気通信大学卒業生としての誇りを持って、それぞれの活躍できるフィールドで羽ばたいていきましょう。